

防災教育の深化 ～「自分の命は自分で守る力」を育成します～

ICTの
効果的
活用

地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育をすすめています

◆ 呉市学校防災週間（7月6日を含む1週間）



危険箇所の確認 防災士からの話 救助活動体験 生徒による幼稚園での出前授業

◆ 「呉市防災教育のための手引き」を活用した実践

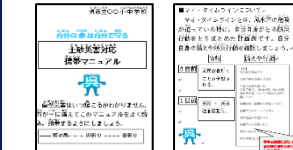
（義務教育9年間を見通し、土砂災害・洪水・高潮への対応に重点を置いたカリキュラム）



【生活科】「つうがくろをあるこう」の単元で、通学路の危険な場所や、安全な登下校の仕方について実際に歩いて確認する学習

◆ 土砂災害対応携帯マニュアル

（出水期前に全ての子どもたちへ配付、携帯）



子どもが家庭に持ち帰り、保護者と話し合いながら自分の避難場所などについて確認します。

◆ 地震・津波対応携帯マニュアル

（一斉地震防災訓練までに全ての子どもたちへ配付、携帯）



◆ 家庭・地域を巻き込んだ防災教育



参観日での防災授業 地域合同防災訓練

学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高めます。

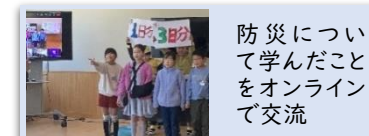
◆ 呉市防災教育研修会

（講師を招き、防災に関する専門的な研修）



防災に係る知識・技能の習得を目指します。

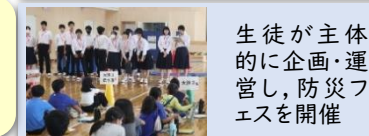
◆ 各学校の取組



防災について学んだことをオンラインで交流



地域全体の防災意識を高めるため、校内に防災ルームを設置



生徒が主体的に企画・運営し、防災フェスを開催

授業改善の推進

～子どもの主体的な学びを実現します～

ICTの
効果的
活用

目指す子どもの姿

一人一人が問いをもち、かかわりを通して学びを深めている

◆ 子どもの問いが生きる「考える授業づくり」



どうのことかな？
どうして？
どうすればいいの？

なるほど。そういう
考えもあるんだ。

友達と話し合ったら、
つながりに気付いたよ。

子どもの「なぜだろう」「や
ってみたい」を大切に、学びを
ファシリテートします。

こうすればいいんだ。
よし、次はこうしてみ
よう。

◆ 特別支援教育の視点を取り入れた工夫



時間の構造化

場の構造化

◆ 生徒指導の実践上の視点



安全・安心な風土の醸成

小中で進める授業改善

◆ 呉市「学びの革新」推進研修会

◆ 小中で創る「未来の学び」実践事業



各校の「学びの革新」推進担当教員を対象に、研修を行います。

小中一貫教育を基盤とし、20年後、30年後に役立つ資質・能力の育成に向けて、中学校区で研究を進めます。

個を大切にした支援の充実 ～一人一人の実態や思いに寄り添います～

ICTの
効果的
活用

◆ SSR（スペシャルサポートルーム）

自分がしように思うことを自分のペースで進めることができる。SSRがあれば登校しやすい。



専任の担当者があり、不登校等児童生徒に社会的に自立する力を育む居場所です。居心地が良く、落ち着く空間です。

◆ 呉市教育支援センター（つばきルーム）



中央ルーム、延崎ルーム、安浦ルームの3ルーム
2名の支援員により対応
令和6年度、「呉市適応指導教室」から「呉市教育支援センター」へ名称変更



（つばきルーム紹介ホームページ）

◆ SCHOOL "S"（広島県教育支援センター）

東広島市八本松の県立教育センター内に設置。来室利用やオンライン利用が可能です。

居場所 づくり

不登校児童生徒支援のための、居場所等を紹介しています。



（いいばしよろいホームページ）

◆ フリースクール

学校はフリースクールとも連携します。

個に応じた 支援



◆ 支援のための会議



◆ 関係機関との連携

・ 特別支援学校（巡回相談の活用）
・ 少年サポートセンターひがしひろしま
・ 広島国際大学心理臨床センター 等

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも助言を得ながら、情報共有したり、支援の具体を検討したりします。個別の教育支援計画等も活用します。

◆ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

・ スクールカウンセラーは「心の専門家」として、児童生徒、保護者及び教職員等の悩みや相談にのり、解決へ向けた支援を行います。
・ スクールソーシャルワーカーは「社会福祉の専門家」として、児童生徒、保護者及び教職員等の悩みや相談にのり、解決へ向けた支援を行います。

◆ オンラインの活用

・ オンラインでの授業配信
・ オンライン配信による行事参加 等

相談することの大切さを伝え続け、相談には寄り添って対応します。



（相談窓口の紹介）

学校における働き方改革の推進

安全・安心で信頼される学校

～ 児童生徒が安心して学び、成長できる学校風土の醸成 ～

教職員による不祥事の根絶

呉市が進める小中一貫教育

呉市では、「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」をねらいとし、平成19年度から全ての中学校区で小中一貫教育を進めてきました。

社会が急激に変化し、多様性の尊重が大切な今だからこそ、これまで進めてきた小中一貫教育を基盤としながら小中のつながりを一層重視し、新しい時代に必要な資質・能力を育成します。



（小中一貫教育）



小中乗り入れ授業



異学年交流



小中合同研修

小中一貫教育推進コーディネーター研修会

一体型	分離型	義務教育学校
中学校と小学校の施設が一体化している中学校区です。 4中学校区が施設一体型（広南、警固屋、呉中央、倉橋）	中学校と小学校の施設が離れている中学校区です。	呉市立天応学園 9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施した学校です。

「小中一貫教育」を進める呉の学校 ～一体型、分離型、義務教育学校～
これまで積み重ねてきた小中一貫教育の取組を基盤として、それぞれの形態で、特色を生かした取組を進めます。